

保存期間	3年	決裁区分	部長
收受日		分類	021-I-03-03-コ
起案日	平成26年 4月30日	文書番号	芦教生第129号
決裁日		起案者	社会教育部生涯学習課 課員 小山 忠寛 印 (電話番号 : )
施行日			
処理期限			
発信元文書の日付			
公印	不要	公開区分	公開
非公開理由			
あて先			
件名	芦屋市立美術博物館の指定管理者に係る平成25年度 事業報告書の受理について		
公開件名	芦屋市立美術博物館の指定管理者に係る平成25年度 事業報告書の受理について		
決裁・合議	承認者 承認者 承認者 決裁者 承認者 承認者	企画部 企画部行政経営課 企画部行政経営課 社会教育部 社会教育部生涯学習課 社会教育部生涯学習課	部長 課長 係長 部長 課長 係長 米原 登己子 稗田 康晴 吉泉 里志 中村 尚代 長岡 一美 竹村 忠洋
公印使用承認			
<p>伺い文 【職務権限規程 1 : 組織運営 指定管理者協定 19, 申達報告等 37】</p> <p>芦屋市立美術博物館の指定管理者に係る 平成25年度 事業報告書の受理について</p> <p>記</p> <p>標記の件, 芦屋市立美術博物館に係る平成25年度 事業報告書が同館指定管理者基本協</p>			

定書第21条第1項の規定に基づき、指定管理者から提出されましたので、受理するとともに承認し、行政経営課にも同報告書を提出します。

以上

添付文書管理票番号： 4273

保存期間	3年	決裁区分	部長	
收受日		分類	021-I-03-03-コ	
起案日	平成26年 4月30日	文書番号	芦教生第129号	
決裁日		起案者	社会教育部生涯学習課  課員 小山 忠寛 印 (電話番号： )	
施行日				
処理期限				
発信元文書の日付				
公印	不要	公開区分	公開	
非公開理由				
あて先				
件名	芦屋市立美術博物館の指定管理者に係る平成25年度 事業報告書の受理について			
公開件名	芦屋市立美術博物館の指定管理者に係る平成25年度 事業報告書の受理について			
確認欄	承認者 承認者 承認者 決裁者 承認者 承認者	企画部 企画部行政経営課 企画部行政経営課 社会教育部 社会教育部生涯学習課 社会教育部生涯学習課	部長 課長 係長 部長 課長 係長	米原 登己子 稗田 康晴 吉泉 里志 中村 尚代 長岡 一美 竹村 忠洋
添付文書	添付文書名		媒体種別	
	(芦屋市立美術博物館) 平成25年度 事業報告書について		紙	

平成26年4月25日

芦屋市長 山中 健 様

芦屋市立美術博物館 指定管理者

小学館集英社プロダクション、芦屋ミュージアム・マネ  
ージメント、グローバルコミュニティ グループ

代表者 株式会社 小学館集英社プロダクション

住所 東京都千代田区神保町 2-30 昭和ビル

代表取締役社長 紀伊 高明



平成25年度 事業報告書について

別紙添付書類の通り、芦屋市立美術博物館の平成25年度 事業報告書を提出いたします。

平成26年4月25日

芦屋市立美術博物館の管理業務に関する事業報告書  
(事業年度 平成25年4月1日～平成26年3月31日)

芦屋市長 山中 健 様

名称 小学館集英社プロダクション, 芦屋ミュージアム・  
マネージメント, グローバルコミュニティ グループ

報告者 所在地 東京都千代田区神田神保町2-30 昭和ビル  
(株)小学館集英社プロダクション

代表者氏名 代表取締役社長 紀伊 高明

管理業務の実施状況	<p><b>1 施設維持管理</b>  <b>(1) 施設の保全・管理</b>  前年度に引続き、巡回目視点検での異常の有無確認を行い、漏水箇所の特定・改善など設備・建物の耐用年数の長期化を図る管理を行った。市による松ノ木の伐採が終了した。植栽剪定・消毒作業等を適切に実施し、景観維持を図った。</p> <p><b>(2) 安全・快適な施設の提供</b>  各作業実施報告書提出は徹底している。特に安全管理を最重要視し、避難経路の確保、館内、庭の監視を徹底した。</p> <p><b>(3) 清潔な環境の維持管理</b>  日常の清掃に加え、定期清掃やガラス清掃、空気環境測定検査及びクーリングタワーの清掃等を昨年同様実施し、清潔な環境の維持管理に努めた。</p> <p><b>(4) その他対応</b>  第1, 第2展示室、収蔵庫等の温湿度が不安定な状態を、管理課職員、維持管理会社本部、学芸員による日々の調整で安定化を図った。また温湿度安定のための調査を徹底した。</p> <hr/> <p><b>2 安全管理/危機管理対策、個人情報保護</b>  <b>(1) 各種マニュアルの作成と周知徹底</b>  「危機管理」「個人情報保護」「苦情・要望対応」「講座・イベント等における安全管理」各種マニュアルの内容の定期的見直し、部分改訂を行った。</p> <p><b>(2) 研修・訓練の実施</b>  実際の場面を想定した避難訓練・防犯訓練や、個人情報保管状況の確認・改善案の検討など、実地的危機対策を行った。</p> <p><b>(3) その他</b>  例年通り安全管理強化月間(7月～8月)を定め、整理整頓の強化、不審者対応等を館全体で見直した。また、内部監査を実施し、館内の危険箇所や懸案事項について確認し、改善を図った。</p> <hr/> <p><b>3 広報活動</b>  <b>(1) ホームページの充実</b>  当館の「ツイッター」も定着化してきた。常時開催する展覧会・イベントその他の情報発信の場としてリアルタイムに活用した。アクセス数も日々増加している。</p> <p><b>(2) 各種広報媒体の充実、広報先の拡大</b>  従来の広報先、広報方法をさらに拡大するため、芦屋市にある各種団体、地域の店舗に直接広報を依頼し広報先拡大を図った。また、各種後援の申請や新聞社等の記事掲載取材を受けるため、当館より細かい情報を発信するなど、積極的に活動した。</p> <hr/> <p><b>4 事業</b>  第一期最終年度として美術、歴史共に総括企画を実施した。美術は具体、芦屋ゆかりの絵画、版画等、歴史は他館との共催での「浮世絵」展の開催や芦屋の歴史と文化財を扱い、年間3万人の来館者を達成した。  ※事業内容については別紙1のとおり</p>
施設の利用状況	<p><b>1 サービスの向上</b>  <b>(1) 研修・訓練の実施</b>  「避難訓練」は法令に従い実施。また、不審者対応強化のため昨年に続き2回目の「防犯訓練」を警察署の協力のもと行った。</p> <p><b>(2) 利用者アンケートの収集</b>  展覧会観覧者から忌憚りの無い意見を頂くため、自由裁量ではなく受付で全員の方にお渡しし、ご協力を仰いだ。展覧会毎にデータは整理し、次回以降の実施の参考とした。  ※入館者数は別紙2のとおり</p>
使用料(利用料金)の収入実績	<p>※入館料等は別紙2のとおり</p>

## 1 展示事業

## (1) 公募展

第62回 芦屋市展	12/17~12/23 (15日間)	1,330人
-----------	--------------------	--------

公募展合計 1,330人

## (2) 常設・企画展

名 称	期 間	観覧者数
・世界を魅了した「青」—浮世絵名品展 春信・歌麿の“露草青”写楽の“藍”“北 斎・広重のベルリンブルー”	4/1~5/6 (31日間) (3/20~3/31 除く)	5,560人
・コレクション版画展 菅井汲/松谷武判 print works ・芦屋の歴史と文化財	5/18~6/30 (38日間)	1,697人
・90年間のタイムカプセル 学習雑誌にみるこどもの歴史 ・昔屋の歴史と文化財	7/15~8/18 (30日間)	2,042人
・アートピクニック vol.3 マイホーム ユアホーム ・昔屋の歴史と文化財	8/31~10/6 (32日間)	1,553人
・ゲンビ New era for creations 現代美術懇談会の軌跡 1952-1957 ・芦屋の歴史と文化財	10/19~11/24 (32日間)	1,375人
・The Collection “具体円熟/終幕” “芦屋ライフスタイル劇場” ・昔の暮らし—和 WA 日本の伝統工芸品—	1/11~2/9 (26日間)	1,190人
・第31回 芦屋市造形教育展 ・昔の暮らし—和 WA 日本の伝統工芸品—	2/22~3/2 (8日間)	4,476人
・世界を魅了したやまとなでしこ —浮世絵美人帖	3/30~3/31 (1日) (3/30~6/15)	75人

常設・企画展合計 17,968人  
総入館者数合計 33,040人

重点的に取り組んだ展示

## 2 教育普及活動

### (1) 展覧会関連事業

名 称	内 容	開催月日	参加者数
「世界を魅了した「青」－浮世絵名品」展 関連 ○オープニング記念展示解説会	解説：本館学芸員	3/20	105人
○ワークショップ「多種多様な「青」で描く－喪失と再生の色ブルーに癒されませんか？」	講師：井上よう子(画家/大手前大学・成安造形大学非常勤講師)	3/31	29人
○講演会「浮世絵と青」	講師：本館学芸員	4/6	23人
○講演会「青の文化史－日本美術にみられる古代の青から浮世絵の青まで」	講師：本館学芸員	4/20	40人
○学芸員によるギャラリートーク	解説：本館学芸員	3/23、4/27	35人、50人
「コレクション版画展 菅井汲/松谷武判 print works」展関連 ○松谷武判 performance「流動－Ashiya」	出演：松谷武判(美術家)	5/26	130人
○対談「版画の魅力－松谷武判」	講師：松谷武判(美術家)、神野立生(版画家・NPOアトリエ凹凸)、篠崎俊泰(版画刷師・915版画工房主宰)	6/8	113人
○対談「版画の魅力－菅井汲」	講師：あまのしげ(美術家)、松谷武判(美術家)、川崎晃一(甲南女子大学特任教授)	6/15	108人
○こどもとおとなの美博ギャラリーツアー	案内：松谷武判(美術家)、本館学芸員	6/16	27人
「学習雑誌にみるこどもの歴史」展関連 ○オープニング記念展示解説会	解説：本館学芸員	7/5	49人
○学芸員によるギャラリートーク	解説：本館学芸員	7/27、8/17	7人、4人
○「夏休みは美術博物館で家族一緒に夏祭り！」	夏祭り		460人
「アートピクニック vol.3 マイホーム ユアホーム」展関連 ○オープニングパーティー	開会式	8/31	62人
○トークショー「浅田ホーム×ユアホーム＝アットホーム」	講師：浅田政志(写真家)	8/31	25人
○トークイベント「宮本家の公開家族会議など！」	出演：宮本博史(アーティスト)、宮本亘、宮元伸子、中岡成文(大阪大学大学院文学研究科教員)	9/8	21人
○担当学芸員によるギャラリートーク	解説：本館学芸員	9/14	6人
○ワークショップ「かたちを教えあって、顔を描こう。」	講師：田岡和也(美術家)	9/15	9人
○講演会「博覧の宮殿を極小の私宅－『境	講師：服部正(甲南大学文学部准教授)	9/28	22人

「界なきアート」の神話			
○「ウクレレ茶話会」	講師：伊達伸明(美術家)	9/29	22人
「ゲンビ New era for creations —現代美術の軌跡 1952-1957」展関連 ○ワークショップ—みるだけじゃなく、じぶんでもつくってみない?	講師：寺島みどり(大阪教育大学教養学科 准教授、美術家)	11/2	91人
○講演会「現代美術懇談会(ゲンビ)—“抽象”と“総合”が目指したもの」	講師：平井章一(京都国立近代美術館主任 研究員)	11/17	45人
○担当学芸員によるギャラリートーク	解説：本館学芸員	10/26	15人
「The Collection “具体円熟/終幕” “芦屋 ライフスタイル劇場”」展関連 ○ワークショップ「あなたのまる、わたしのまる」	講師：本館学芸員	1/12	9人
○講演会「芦屋レディ物語—大正・昭和」	講師：廣瀬忠子(本館館長)	1/19	28人
○学芸員によるギャラリートーク	解説：本館学芸員	1/18、1/25	23人、15人
「昔の暮らし—和 WA 日本の伝統工芸品 —」展関連 ○古文書講座≪『摂津名所図絵』を読む≫ (前編/後編)	講師：本館学芸員	1/26、2/2	(前編)17人 (後編)24人
○古文書講座≪浮世絵から読み解く江戸 時代の社会≫(前編/後編)	講師：本館学芸員	2/22、3/2	(前編)23人 (後編)23人
○学芸員によるギャラリートーク	解説：本館学芸員	2/23	2人

## (2) 講演、講座等

名 称	内 容	開催月日	参加者数
「世界を魅了した青—浮世絵名品」展関連 ○講演会「青の文化史—日本美術にみられる 古代の青から浮世絵の青まで」	講師：本館学芸員	4/20	40人
「コレクション版画展 菅井汲/松谷武判 print works」展関連 ○対談：「版画の魅力—松谷武判」	講師：松谷武判(美術家)、神野立生(版画 家・NPO アトリエ凹凸)、篠崎俊泰(版画刷 師・915 版画工房主宰)	6/8	113人
○対談：「版画の魅力—菅井汲」	講師：あまのしげ(美術家)、松谷武判(美 術家)、川崎晃一(甲南女子大学特任教授)	6/15	
「アートピクニック vol.3 マイホーム ユアホーム」展関連 ○トークショー「浅田ホーム×ユアホーム =アットホーム」	講師：浅田政志(写真家)	8/31	20人
○トークイベント「宮本家の公開家族会議 など」	出演：宮本博史(アーティスト)、宮本亘、 宮元伸子、中岡成文(大阪大学大学院文学 研究科教員)	9/8	21人
○講演会「博覧の宮殿と極小の私宅—境界 なきアートの神話」	講師：服部正(甲南大学文学部准教授)	9/28	22人



「ゲンビ New era for creations—現代美術の軌跡 1952-1957」展関連 ○講演会「現代美術懇談会(ゲンビ)—“抽象”と“総合”が目指したもの」	講師：平井章一(京都国立近代美術館主任 研究員)	11/17	45人
「The Collection “具体円熟/終幕” “芦屋 ライフスタイル劇場”」展関連 ○講演会「芦屋レディ物語—大正・昭和」	講師：廣瀬忠子(本館館長)	1/19	28人
昔の暮らし—和 WA 日本の伝統工芸品— 展関連 ○古文書講座《『摂津名所図絵』を読む》 (前編/後編)	講師：本館学芸員	1/26、2/2	(前編)17人 (後編)24人
○古文書講座《浮世絵から読み解く江戸 時代の社会》(前編/後編)	講師：本館学芸員	2/22、3/2	(前編)23人 (後編)23人

### (3) ワークショップ等

名 称	内 容	開催月日	参加者数
「世界を魅了した青—浮世絵名品」展関連 ○ワークショップ「多種多様な「青」で描く—喪失と再生の色ブルーに癒されませんか？」	講師：井上 よう子 (美術家)	3/31	
伊勢幼稚園向けワークショップ	講師：本館学芸員	7/18	73人
はじめはペンキ屋さん	講師：板倉恵美 (あしやあそぼくらぶ)	7/24	60人
絵本作家と作る「世界でたったひとつの絵本」	講師：谷口智則 (絵本作家)	8/1 8/2 8/6	134人 107人 44人
ポスターで描こう	講師：西田 晶 (デザイナー)	8/8 8/9	88人 53人
作ってわかる縄文・弥生	講師： (兵庫県立博物館)	8/17	59人
夏を描こう	講師：板倉恵美 (あしやあそぼくらぶ)	8/21	67人
「アートピクニック vol.3 マイホーム ユアホーム」展関連 ○ワークショップ「かたちを教えあって、 顔を描こう。」	講師：田岡和也 (美術家)	9/15	9人
「ゲンビ New era for creations—現代 美術の軌跡 1952-1957」展関連 ○ワークショップ「みるだけじゃなく、じ ぶんでもつくってみない？」	講師：寺島みどり (大阪教育大学教養学科 准教授・美術家)	11/2	91人
クリスマスオーナメントづくり	講師：板倉恵美 (あしやあそぼくらぶ)	11/24	97人
クリスマス会	講師：芦屋ミュージアムマネジメント	12/15	40人
「The Collection “具体円熟/終幕” “芦屋 ライフスタイル劇場”」展関連 ○ワークショップ「あなたのまる、わたし のまる」	講師：本館学芸員	1/12	9人
Tシャツに絵を描いてみよう	講師：豊松京子 (デザイナー )	3/9	32人

(4) その他事業

名 称	内 容	開催月日	参加者数
阪神モダニズム調査隊	芦屋の文化の調査・研究	4/14 6/1 8/3 9/22	21人 30人 10人 6人
美博寄席	芦屋三自治会との連携企画	4/27	100人
春のアートバザール(自主事業)	“創作活動を通じた交流”を目的とした手作り市を開催	4/27 4/28	2,368人
「夏休みは美術博物館で家族一緒に夏祭り！」	ヨーヨー釣りやスーパーボールすくいなどのゲームで楽しむ。当日は特別に夜間開館(午後8時まで開館)も行う	8/4	460人
Afternoon Hula	正統派フラダンス (当日雨のため、講義室で実施)	9/1	136人
元気で笑顔 みんなで10周年	芦屋プログラム10周年記念事業展示会 アスリートの作品を中心に、写真とパネルに10年間の活動を展示	9/10	382人
秋のアートバザール(自主事業)	“創作活動を通じた交流”を目的とした手作り市を開催。	10/5 10/6	2,201人
朗読と音楽で綴る宮沢賢治の世界	注文の多い料理店&銀河鉄道の夜	11/4	98人
武満徹の世界を歌う	世界の武満と呼ばれた彼の作品に触れるコンサート	11/9	29人
東日本大震災追悼コンサート	雪解けコンサートと題して 第1部:音楽とお話 第2部:石巻市立大川小学校も児童からの感謝のメッセージと歌 第3部:宮沢賢治の世界「セロ弾きのゴーシュ」	3/08	54人

## 1 入館者数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入館者数 (人)	6,617	3,614	1,824	1,518	2,715	2,227	3,316	2,159	1,649	1,286	4,100	2,015	33,040

## 2 収入実績 (利用料金)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入館料 (円)	1,527,200	979,930	147,920	151,200	299,640	240,310	111,300	103,480	0	120,930	73,460	48,630	3,804,000
撮影料	0	2,000	0	0	4,000	8,000	0	0	23,000	0	2,000	1,000	40,000
施設使用料 (円)	28,200	16,800	12,500	23,300	8,400	12,500	12,700	15,100	8,400	15,100	19,200	11,200	183,400
駐車場 (円)	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	780,000
合 計	1,620,400	1,063,730	225,420	239,500	377,040	325,810	189,000	183,580	96,400	201,030	159,660	125,830	4,807,400

芦屋市立美術博物館

管理業務の実施に係る収支状況 平成25年度 通期			
収入		支出	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
芦屋市指定管理料 (立て替え金戻し)	69,800,000	人件費	22,146,757
協賛金・助成金	5,630,000	事務経費	4,141,736
【利用料金】		管理費	12,262,500
入館料	3,804,000	光熱水費	17,565,705
特別観覧料	40,000	修繕費	791,145
施設使用料	183,400	事業費	32,367,290
駐車場	780,000		
【事業収入】			
講座・イベント受講料	448,500		
自販機	93,256		
受託販売 (芦屋市)	57,881		
受託販売 (その他)	180,149		
自館図録	706,931		
コピー	5,380		
合計	82,045,757	合計	89,275,133

\* 収入－支出

△ 7,229,376